

# Financial Review

2021年3月期中間期 フィナンシャル・レビュー

## POINT

- ▶ 不確実性が高まっている事業環境下において底堅く収益を確保。  
上期業績値については、**営業利益、経常利益、純利益が過去最高益に**
- ▶ 上期の実績値の上振れに加え、幅広い物流事業  
ポートフォリオを生かした需要の継続的な取り込み等により、  
**通期の連結業績予想値を上方修正** [本誌4ページ参照]

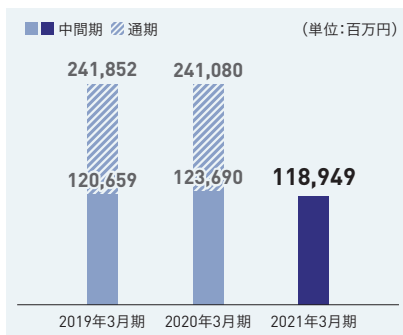
当第2四半期における当社グループの連結業績は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための国内外における経済活動の制限の影響を受け、海上および航空フォワーディング業務の取扱減少などにより、連結営業収益は前年同期比47億40百万円減の1,189億49百万円となりました。

一方、生活様式の変化に起因した消費の拡大を受け、家電メーカー物流等の取扱いが好調に推移したこと、顧客の生産活動再開、または回復に伴う各種原材料の調達物流の取扱いが増加したことなどから、本ページのグラフの通り、連結営業利益は同10億8百万円増の80億72百万円、連結経常利益は同15億85百万円増の81億55百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同15億39百万円増の50億40百万円となりました。

### 営業収益

**1,189億49百万円**

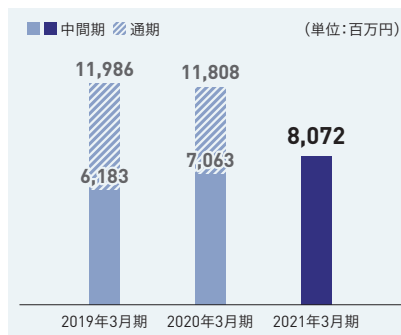
[前年同期比 47億40百万円 ▼]



### 営業利益

**80億72百万円**

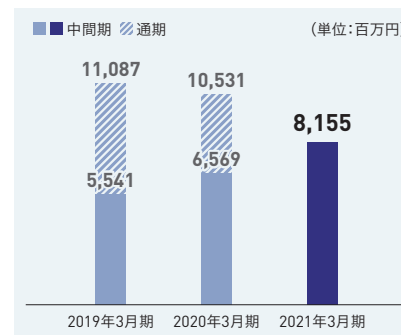
[前年同期比 10億08百万円 ▲]



### 経常利益

**81億55百万円**

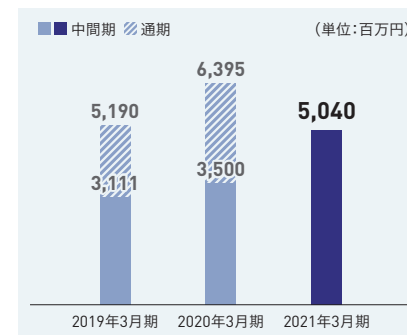
[前年同期比 15億85百万円 ▲]



### 親会社株主に帰属する 四半期純利益

**50億40百万円**

[前年同期比 15億39百万円 ▲]



(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(注2) この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされていますが、その見通しはリスクや不確実性に左右され、実際の結果と大きく異なることも考えられます。読者の皆様には、これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いいたします。